

MAGAZINE FOR FRENCH BULLDOG LOVERS



# B

  
**FRENCH  
BULLDOG  
LIVE**

# U

人生で  
フレンチブルドッグに  
出会えた  
強運なあなたへ

# H

2024 WINTER ISSUE vol.69

[ ブ ヒ ]  
2 0 2 4  
**冬号**  
1,540YEN

# I

**2023**  
YAMANAKAKO

特集

**超** **うちの子**  
**ケア**  
SUPER CARE



中医学から考える  
**冬の不調**

正しいメンテナン스가、世界を変える。完全無欠のフレブル特化ブラッシングからはじめるグルーミング、その子にフィットした新歯みがき術、健康でいるための部分別ボディチェック、衣食住全体から考える、コミュニケーションも。ずっといつまでも幸せに暮らすための、あたらしい「超ケア」の集大成です。

巻末特集

**長寿計画**

年齢別アクション指南

AGE-SPECIFIC  
GUIDEBOOK





きっと自分のことを人間だと思っているのだろう。他の犬には興味がないけれど、近所の八百屋さんにまで愛される人好きブヒに成長(写真は13年前の取材時)。



### 妹は3人目の子ども 家族全員の愛に見守られて

いまはそれぞれ独立しているけれど、佐藤家の子どもは2人だったのが、16年前に3人目の子として迎えられたのがタイガーブリンドルの妹だ。2人の妹だから妹と名付けられたその子は、気が強くおてんばな女の子。末っ子の妹子だけは独立することなく、当時は子どもとして現在は紀代美さんの相棒となり、そばにいる。

「父が獣医なので、子どもの頃からいつも動物に囲まれていました。フレブルと暮らしたかった当初、探していたのは男の子で名前も権三郎にしようと思って決めていたけれど、縁あってうちの子になったのが妹です。実は妹子は生まれてすぐ母犬の体調不良でお乳がもらえず、どちらかといえば弱い印象でしたが、性格は人間好きで犬嫌い。成長してみれば近所でも有名なぐらい強くなっていて、自分から喧嘩を仕掛ける子に(笑)。そのためドッグランにも連れて行かず、すっかり友だちのいないおばあちゃんワンコになりました。その代わり、私や子どもたちがとにかく可愛がり、特に子どもたちに関しては本当に妹子には優しく、独立した今も頻りに顔を見に来てくれます。妹子にとってはそれも大きな楽しみなんじゃないかしら」

そう可笑しそうに話してくれた紀代美さんと妹子は大の仲良し。「私たち老老介護よね」なんて笑いながら妹子に話しかけ、当の妹子も紀代美さんに全幅の信頼を寄せているのだろう。しかし、妹子が歩んできた年月は、決して平坦な道ばかりではなかった。

「妹子は2歳になる前、椎間板ヘルニアを発症し下半身麻痺になったことがありました。この若さで歩けなくなるのかと絶望しかけたけれど、父に相談したら手術してもどこまで回復するかの確証はないから、痛みがないなら車椅子でカバーしたらと提案されました。付き合っていくしかないと思いかけたそんなとき、鍼治療をしてくれる医者がいると聞き、試しに行ったら1回目で効果が現れ10回くらいの施術で治ったんです。当時はもう歩けないと言われたけれど、いま思えば本当に椎間板ヘルニアだったのか、もしかしたらぎっくり腰だったのかも。それに、長年付き合っているのが皮膚病。痒みや痛みが起きないように日々のケアはもちろん、ステロイドを活用しつつも栄養を摂ることをとても意識しています。また、12歳ごろに緑内障で失明した後には耳の病気で苦しみ、聴力も失いました。このときは体の痛みはもちろんのこと、見えず、聞こえずになった戸惑いを想像したら本当につらくて、ごめんね、頑張ってくれてありがとう、の言葉しか

ないです」

そんな妹子の食事は手作り、お粥をベースに肉と魚がメイン。時には飲む点滴と呼ばれる甘酒を水で割って飲ませることも。食べることが元気の源と知っている紀代美さんの手によって、ずっと美味しく食べられるよう毎晩の歯磨きも欠かさない。そのおかげもあり、現在も歯はしっかりと揃い、朝は魚、夜は肉を中心に毎日食べるのだそう。

「手作りって大変そうに思うかもしれませんが、本当に子育てと同じ。肉や魚は毎日食べるので、妹子も自然と同じ食生活になりました。現在は高齢なので特別なことはあえてせず、毎日同じことを繰り返すのがいちばん落ち着くと思う。だから意識的に日々のルーティンを崩さないように気をつけています」

### 大好きな八百屋さんへの 散歩と目から鱗の工夫

現在も朝と夜の散歩は欠かさず、とりわけ朝の散歩は妹子にとって重要ならしい。その理由は家の近所にある八百屋の存在だ。

「昔から通っている近所の八百屋さんまで毎朝歩き、そこで馴染みの人に撫でてもらう焼き芋を食べるのが何よりの楽しみ。焼き芋の時期が終わる前には大量の焼き芋を作っ

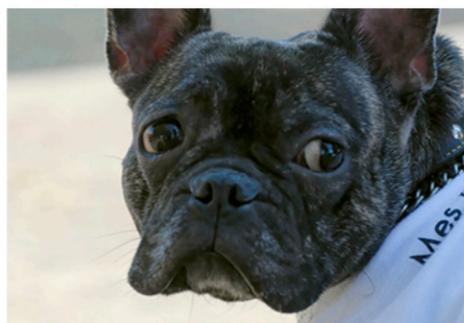


## 13年前のBUHIに登場したあの子が 今や16歳4ヶ月のレジェンドに！

2010年に発行されたBUHI vol.13号。そこに掲載されたのは2歳になったばかりの妹。そんな彼女が現在16歳4ヶ月という堂々たるレジェンドブヒとなり、BUHIに再登場してくれた。4年前に緑内障から全盲に、そして同じ頃耳の病気を患い耳も利かなくなっただけで、今も食欲旺盛で毎日散歩するスーパーブヒ。そんな妹子のパワーの源は、間違いなく家族の愛情なのだ。

## 愛の 話

We stand together with love for French Bulldogs



当初バイドを探していたというけれど、縁あってやってきたのはタイガーブリンドルの妹。落ち着きがなく遊ぶのが大好き。(写真は13年前の取材時)



# 夏

だんだんみんなの顔が似てくるのはなぜだろう。同じ空間で、同じ笑顔を共有しているからかもしれない、なんて思うのも幸せの証。



## 日本一のラッキーフレンチブルドッグ 8歳の息子と歩むムタ、3歳の幸福な日々

フレブルオーナーにとっては熱狂の2日間、  
と言っても過言じゃないほどの盛り上がりを見せた今年のフレンチブルドッグライブ。  
山中湖畔がフレブル一色に染まる光景はそれはもう圧巻で、  
その最中で人一倍興奮に震えていたのが小平さんファミリーだ。  
その理由はもちろん、3歳になる愛ブヒのムタが  
本誌の表紙モデル権を勝ち取ったからにはほかならない。

## 愛 We stand together with love for French Bulldogs の話

栄冠を掴んだのは小さな手  
兄弟のようなふたりの関係

ジャンケンで勝ち進めば表紙モデル権獲得。青空の下に勢いよく振り上げられたまだ小さなその手は、ムタのお兄ちゃんである8歳の誠市くんのもの。まさかまさかと思っているうちに残るは数名となり、渾身の自己アピールを経て最優秀者に。予想外のことにびっくりしたそうだけれど、表紙モデル権を射止めたラッキーボーイは、ムタクんをこよなく愛する誠市くんだった。

「去年もフレブルライブに参加しました。それがすごく楽しかったので今年もワクワクしながらやって来たら、まさかこんなことになるなんて(笑)。勝ち進む誠市を緊張しながら眺めていましたが、私以上に喜んでいるのは、ムタにいつもべったりの誠市だと思えます」

ムタが小平家に来たのは誠市くんが5歳のとき。フレブルが大好きで迎えたいと願っていた由紀さんがご主人の健二さんを説得し、最初は半ば押し切るカタチで家族の一員となった。ムタを見初めた理由は、なんといってもその顔。なんでも健二さんにそっくりだからで、実際にムタに会いに行くとやっぱり似ていると感じたらしい。迎えたのがちょうどコロナ禍の時期だったこともあり自宅で過ごすことが多かったが、それ



誠市くんはムタはいつもこうしてひっついて過ごし、お互いが見守り合う存在。誠市くんの入浴中はお風呂のドア前で待っているそう。





フラン @blanc0313

  
FRENCH  
BULLDOG  
LIVE  
2023  
YAMANAKAKO



大 竹 宏 明 撮 影 会

はに @chikuwa\_\_desu

今年もやってきました、フレブルLIVE。  
その中でもシュールなのにフレンドリーな写真が大好評なのが「大竹宏明撮影会」。  
麗しの全員掲載で続きは74ページから。次回はかならず、あなたも！



特集

# うちの子 超ケア

SUPER CARE

正しいメンテナンスが、世界を変える。  
完全無欠のフレブル特化ブラッシング  
からはじめるグルーミング、  
その子にフィットした新歯みがき術、  
健康でいるための部分別ボディチェック、  
衣食住全体から考える、  
コミュニケーションも。  
ずっといつまでも幸せに暮らすための、  
あたらしい「超ケア」の集大成です。



……まあ、シャンプーすればいいか。

特集

うちの子  
超ケア  
SUPER CARE



# フレンチブルドッグのニュー・ベーシックケア

NEW BASIC CARE FOR FRENCH BULLDOGS



これが噂の天然毛ブラシ「NO.217」。フレンチブルドッグの被毛に絶妙な深さでアプローチできるつわもので、一家に一本は持っていただきたい逸品。



天然毛ブラシ NO.217

爪のケアは愛フビの健康に直結する大事なポイントだった

木村 一般的に、フレンチブルドッグのオーナーさんは普段どのようなおうちケアをされているんですか？

——シャンプー、爪切り、耳掃除、角質ケア、マッサージ、できることは何でもおうちでやるという積極的なオーナーさんが多い印象です。

石井 なるほど、では順番にお話ししていきますでしょうか。まず、爪の長さを適切に保つことは、犬の肩、肘、背中、股関節まで影響を及ぼす、とても大事なことです。フレンチブルドッグは、爪が伸び過ぎの子が多い印象です。2〜3週間に一度は切ってほしいと思います。爪の長さを見てあげて、地面から爪が浮いていないか、指が捻れていないかがチェックポイントです。フレンチブルドッグの爪は他の犬種と異なりちよつと個性的です（図1）。

フレンチブルドッグは、爪が指に沿って湾曲した形状の子が多いため、パッドと爪との隙間があまりない子が多くなります。特に後ろ足はそうです。そしてこの部分が、角化（角質化）し

やすい。ここが角化すること自体は問題はないのですが、爪切りが入りにくく、残りやすい部分なので、ヤスリで削るのがいちばん良いでしょう（図2）。

伊佐 オーナーさんが愛犬の爪を切れるようになりたいというのであれば、ヤスリがけからスタートして爪の扱いに慣れていく、というのも犬にもストレスにならず、良い方法だと思いますよ。

石井 コツはヤスリを一方方向に動かすこと。

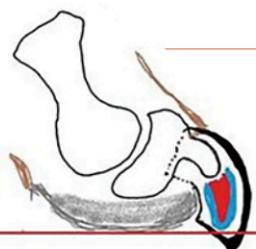


図1

他の犬種に比べて、指に沿って爪が湾曲し、パッドとの隙間が狭いのが特徴。

©Ayumi Ishii

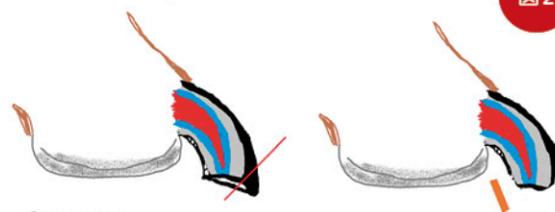


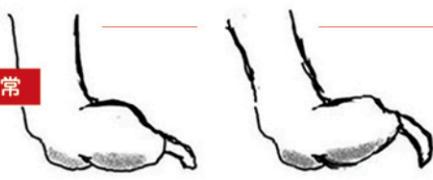
図2

爪切りを使用して、赤線部分をカットする。細心の注意を払いつつ、慣れていこう。

©Ayumi Ishii

ヤスリはオレンジ線の角度で爪に当てて一方方向に少しずつ。パッドに当てないように注意。

今回お話をうかがった、石井あゆみさんと伊佐美登里さんは、数多くのコンテストで入賞経験を持つ、カリスマグルーマーさんです。学校での指導、オーナー向けセミナーも開催され啓蒙活動も積極的にされている、言わばグルーミング会の巨匠。そして木村定敏さんは、二人をはじめ数多くのトリマーさんから信頼の厚い、グルーミング用ブラシなどの道具をこだわりを持って製造販売されている株式会社K-proの代表です。そんなグルーミングの全てを知るお三方を迎えての座談会、フレンチブルドッグならではのグルーミング方法について愛情たっぷりにお話いただきました。サロン派のオーナーさん、おうちケア初心者オーナーさんはもちろん、筋金入りのおうちケアラーを自称するあなたも、感動の愛ブヒグルーミングの世界へご招待します。



正常

図3

爪が伸びすぎて地面からパッドが浮いてしまっている状態。こうなると日常生活でも危険が。



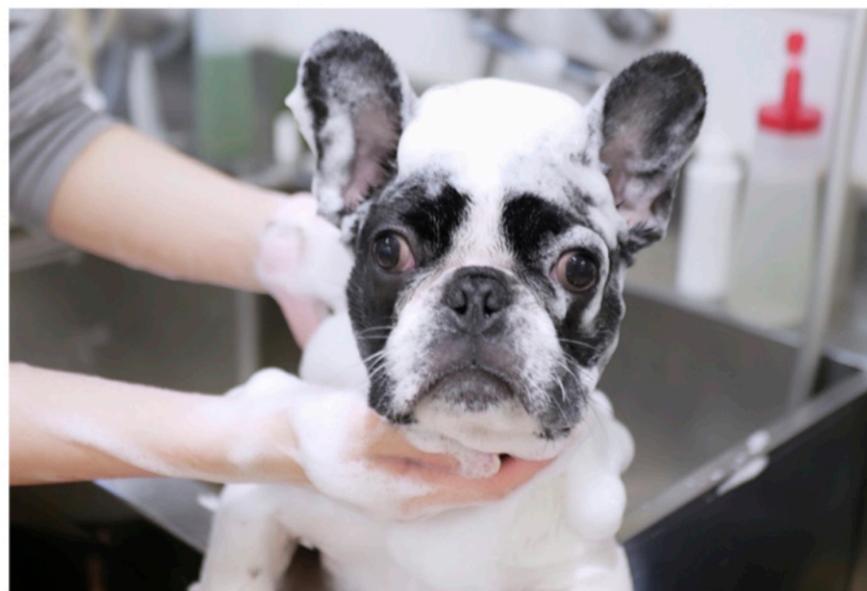
正常

爪が伸びすぎて行き場をなくし、指が捻じれてしまっている状態。歩きにくさが増す。

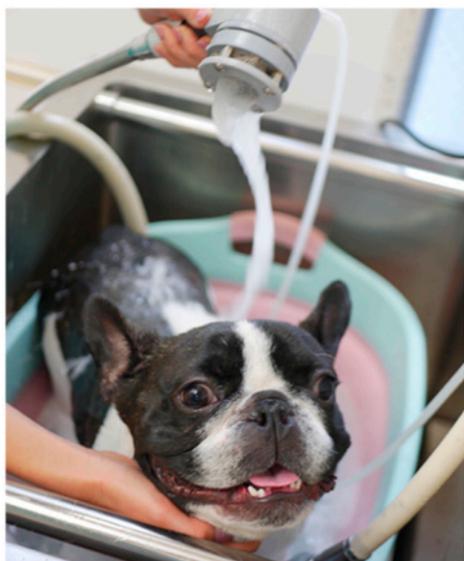
©Ayumi Ishii

左右に動かすと爪が左右に動き、爪の根元に負担がかかるので、痛がります。犬の爪は鉤爪で、伸びると浮きや捻れが生じやすく（図3）、この状態で歩くということは、わたしたち人間が足に合わない靴を常に履かされているのと同じです。指の関節炎が慢性化しているのに、ぎゅっと指を握まれて爪を左右にガツとヤスリで削られたら、痛くて嫌がるはず。人間に合わせ、硬い床を歩かせることが多いと思うので、爪は本当にこまめに切ってあげてほしいと思います。

ボディケアに歯磨き、メンタルケアまで。この子には、でき得るだけの最上を



獣医さんの指導により、肌ケアのためシャンプーは毎週。月に1回はサロンでケアしてもらい、毛並みも艶々に。



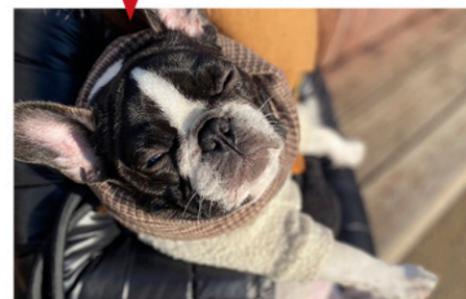
信頼できるトリマーさんや動物病院、ドッグホストさんを見つけておくことも、より良いケアには重要なこと。



Chrome (クロム)

1歳 ♀ ・パイド

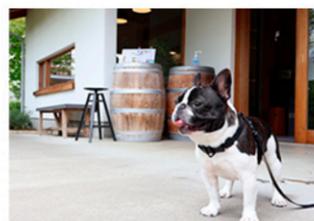
@chrome\_buhi



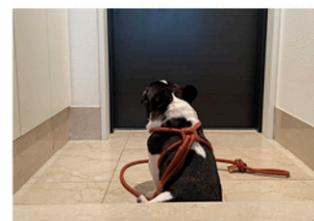
普段は穏やかなクロムも、遊びでは活発な「ザ・フレブル」。真夏の運動不足解消に、ペランダプールで発散。



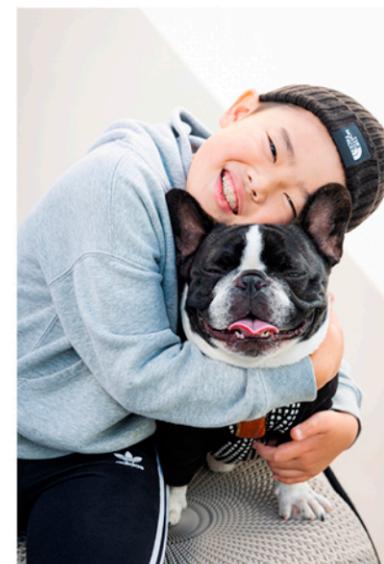
今年10月、去勢手術と共に軟口蓋切除、外鼻腔拡張、乳歯遺残抜歯の手術も。安全な呼吸のための外科的ケア。



うっかり足を踏んでも無言なほど寡黙なクロム。そのため、痛みやかゆさがないが神経質なくらいに気を配る。



散歩から戻ったら足を洗い、抜け毛ケアと肌チェックを兼ねてブラッシング。ラバー製と猪毛のブラシを愛用。



フレブルLIVEでの一枚。クロムと息子さんは兄弟で親友。手術後にもいたわってくれた優しいお兄ちゃん。

RECOMMENDED POINTS

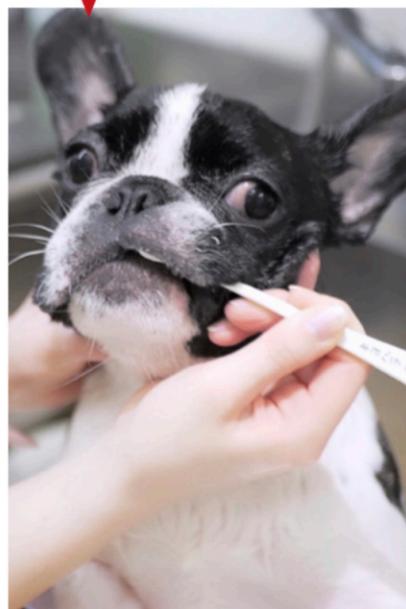
歯磨きは毎日。月に1回はサロンのスペシャルケアも



肉球ケアは気になる時だけ。ケア用クリームが苦手なクロム。舐めてしまうので寝ている間がケアのチャンス。



お迎えの夢を見たのがきっかけでフレブルを知った清原さん。親友と同じ誕生日のクロムに運命を感じ家族に。



自宅では毎日寝る前に歯磨き。奥まで磨けているとプロのお墨付きだが、サロンでの「スペシャル歯磨きコース」で、さらに念入りなお手入れを。

歯磨きや顔のケアは、自宅でも毎日行っている。「歯磨きは寝る前の習慣。歯ブラシを見せて呼ぶと、自分から来てくれます。ベリストを嫌がるので、水で濡らして磨いていますが、トリマーさんからは綺麗だと褒めてもらえますよ」

自己主張しない子だからこそ、ボディチェックを兼ね、ケアは丁寧。一方で、湿疹などの異常が見られたら、すぐに病院へ連れていく。全力でケアしているからこそ、それでも出る症状に対しては、速やかに医療の力を頼って治す。

「入院などに備えた訓練として、留守番や、信頼できるドッグホストさん宅へのお泊まりの機会も作っています。そのおかげか、私たちが出かける際も平常心で、帰ってきてもお出迎えはありません。お留守番を大イベントにしないのは、クロムのメンタルケアのために私たちが望んだこと。これで良かったと思っています」

大切だからこそ手を離し、信頼できるプロに託せる環境も整えておく。愛あればこそその、極上のケアだ。

夏は膿皮症、冬は乾燥によるフケが出やすいので、シャンプーは毎週。数種類を検討し、保湿効果の高いシャンプー剤を現在は使っている。自宅ケアが基本だが、月1回は欠かさずトリミングサロンへ。シャンプーのほか、爪、耳、肛門腺絞り、顔まわり、足裏、歯磨きなど、ひと通りのケアをしてもらう。

「学生時代からの友人が、クロムの専属トリマーさんなんです。マイクロバブルや泥パックなど、必要なスペシャルケアを提案してくれたり、私からも相談をしたり、気軽に話せて頼れる存在です」

「過保護万歳です」と、明るく宣言するのは、1歳4ヶ月になるクロムのママ、清原さん。クロムはまだ青年期だが、「三度目の大生かなと思うくらい、パピーの頃から静かでお地蔵さんみたい」と、清原さんは笑う。手がかららないが、その悟りゆえ、食事には一手間が必要だ。「食に興味がなく、あまり自主的に食べないんです。ドライフードを食べてほしいのですが、好きではないようで、バックの手作りフードをトッピングし、スプーンで口元まで運んでやると食べてくれます。おやつも気が乗らなければ食べません。食欲が体調のパロメーターになりにくいと獣医さんにも言われたので、完食してもらえようという試行錯誤中です」

ボディケアやケア用品、口に入れるもの、肌に触れるものは、赤ちゃんにも使えるヒューマングレードを基準に、この子に合う最上のものを与えたい。それが清原さんの信条だ。

赤ちゃんにも使えるような、ヒューマングレードのものを选びたい

手がかるのも愛おしい。「フレブル好きという病」を満喫するクロム家の日々のケア。

MODEL

1



子犬は、平均して生後2ヶ月〜3ヶ月くらいであなたのお家に迎え入れられることが多いのではないかと思います。子犬を迎えたその日からあなたのフレンチブルドッグライフがはじまり、子犬にとっても新しい環境での人間ライフがはじまります。迎え入れたその日はうれしくて、きつとお互いが興奮していますよね。可愛くて可愛くて、ずっと見ていたくて、ずっと触っていたくて、ついつい子犬が疲れるまでかまってしまいかもしれません。しかしそこは少し我慢して、遊ぶのはほどほどにして、ご飯を食べてくれたらゆつくり寝かせてあげてください。**子犬にとつて睡眠はとても大事です。できればブリーダーさん宅での生活のリズムを確認しておき、最初のうちは「ご飯の時間や睡眠の時間」もそれに近い状態にしておいてください。**

迎え入れた初日によくある間違いで、小さなお子さんがいるご家庭に多いのですが、楽しくて子犬が疲れるまで遊んで、睡眠時間が短くなってしまふパターンがあります。これが原因で、次の日から子犬の下痢がはじまってしまふことがあるのです。そうでなくても、子犬は新しい環境というストレスから1週間くらい軟便になることが多いですから、かまひすぎには注意しましょう。も

ちろんケージに長い時間入れておいたほうがいい、ということではありません。遊ぶ時間、ご飯の時間、睡眠の時間と、飼い主主導でメリハリをつけることが大切です。

迎え入れてから1〜2週間くらいは夜鳴きをする子も多いでしょう。切ない声で鳴かれたら、かまいたくありませんが、「鳴く＝遊んでくれる」と覚えさせないように気をつけてください。夜鳴きが止まらなくなったり、成長してからも要求吠えをするきっかけにもなってしまう。必ずというわけではないですが、ケージから出して遊んであげるの、できるだけ子犬が落ち着いているときにしましょう。

フレンチブルドッグは骨格構成上、脊椎と四肢関節が強いほうではありません。遊び方の注意点としては、室内など、床が滑りやすい環境だと関節に負担がかかるので、滑らないように工夫してあげてください。グリップの利かない足場で遊ばせても、何ら運動にならないばかりか、かえって足腰を痛めたり、積み重ねによって関節疾患が悪化する可能性があります。たとえば、ボールを投げて回収させるような遊びは、ボールをキャッチする際に急ブレーキをかけるため、関節への負担が大きくなります。ソファや高い段差から飛び降りるのも同様です。また、子犬と成犬など体重差がある犬同士で遊んだりする場合は、膝蓋骨

なかなかしつけが入らないのも思うようにいかないのも、「ウチの子の個性」と思って楽しむくらいの気持ちで頑張ってください。

それから、いちばん間違えやすいのがトイレのしつけです。これは私自身も、初めて迎えた子のときにすっかり失敗してしまいました。初日にケージから出して部屋で遊ばせていたときです。子犬が部屋の隅の絨毯の上でウンチをし始めたのを見て「ダメ！」と言い、ウンチを中断させてケージに入れました。その後も何度かオシッコ、ウンチを間違った場所ですら「ダメー！」と言って同じ行動をとったのです。その行動がその後、数年間トイレのしつけに悩まされる原因になることも知らずに……。結果、ウチの子は「ウンチやオシッコをすること自体がダメ」と認識してしまったのです。そうなる前、**私が同じ空間にいる間はトイレを我慢するように促すようにします。私がいない間にウンチをしても構いません。食糞は別の理由でもすることはありますが、ウチの子はトイレをすること自体がダメ、という認識が強かったからだったと思っています。**

トイレのしつけは人それぞれのやり方があると思いますが、私がある後で迎えた2頭目からのしつけで成功した例としては、部屋で遊んで、床をクンクン嗅ぎ始めるトイレ

の動作が出たらケージに戻し、入り口を閉め、トイレシートで排泄するのを待ちます。無事に成功したら、その場ですぐにおやつを与えて大きさに褒めます。それからまたケージを開けて部屋で遊ばせる、という流れを繰り返しました。そうすることで、**部屋で遊んでいても、ケージに戻ってトイレシートの上で排泄をする、褒められておやつがもらえる」と認識してくれるようになります。**もちろんすぐには上手くいきませんが、「子犬に期待しすぎない」ようにのんびり頑張ることが大切ですよ。

お散歩デビューでは、ほとんどの場合、立ち尽くすだけで歩いてくれません。もし歩いてくれたとしても初日から散歩と呼べるほどの距離は期待できないと思います。ただ、そんな場合も、無理にリードを引っ張って歩かせようとするのはやめましょう。子犬は骨格が完全にはでき上がっていないので、とても負担になってしまいます。歩かない場合は、子犬の少し前に行って子犬の名前を呼んだり、「おいで」と優しく声をかけ、ついてきたら大げさに褒めてあげましょう。歩かないからといってすぐに抱いてしまうのもよくありません。もし抱くのなら、家を出るときから抱いたまま50メートルくらいの場所を下ろし、家に向かって帰る方向に歩かせようとしてみるほうがいいでしょう。しつけ全般にいえ

巻末特集

長寿計画

年齢別アクション指南

AGE-SPECIFIC GUIDEBOOK



解説

羽田悠一郎  
フレンチブルドッグ専門「ZAIHOO (ザイホー)」代表

長年のパートナーとして「犬質」にこだわったフレンチブルドッグの子犬・若犬を紹介するフレンチブルドッグ専門店の代表。自身のドッグショーやブリーディングの経験から知り合ったフレンチブルドッグ専門のショーブリーダーと提携。自身の目で選んだ「良質な子犬」を紹介することにこだわりをもつ。

への負担や脱臼の恐れもあるので、激しく絡ませないようにしましょう。もちろん、神経質になりすぎる必要はありませんが、気をつけることでトラブル回避につながりますので覚えておきましょう。そして遊びを終わりにするのにも、子犬が飽きたり疲れたりする前に、飼い主主導で終わるようにしてあげてください。

そしてやはりこの時期に大切なのは「しつけ」です。しつけをする際は「子犬に期待しすぎない」「これを常に頭におくことがいちばん大切です。子犬を迎えて数週間後、「子犬のしつけが上手いかなくて、この先やっばい自信がない」「ケージやお部屋がオシッコやウンチまみれの毎日が続いてしまふのか不安で仕方ない」「周りの友だちの子犬や兄弟犬を迎えた人の子犬はしつけがすぐに入ったのに、ウチの子はいつまでたっても……」。フレンチブルドッグ人気が比例して、年々そういった方がとても増えています。しつけが思うようにいかないのは当たり前のことです。1〜2歳くらいまでは赤ちゃんみたいなものだからしょうがない。そのような気持ちでいることが、子犬にとつても飼い主にとつても健全です。しつけが上手いかなんかで、あなたが不安になつたりイライラしているのは、子犬にちゃんと伝わりやすから気をつけてください。しつけが簡単に入った子と比べても何の意味もありません。

ることですが、散歩も焦らず少しずつ慣らしながら距離を長くしていくようにしましょう。

成犬になると体重が平均してメスで9キロ前後、オスが12キロ前後になりますから、散歩での引く力も非常に強くなります。

Age 1

子犬は生後6ヵ月から1歳くらいにかけて本格的に体が大きくなってきますから、この時期くらいから散歩時は飼い主の左側を並んで歩けるようにしつけてあげることが大切です。リーダーウォークの基本ですが、飼い主主導による歩き方を覚えさせるために、たとえば子犬が前に行こうとしたときに飼い主がリードを引っ張るのではなく、向きを変えて歩き出します。もちろん初めから上手くはいきませんが、それを何回も繰り返すうちに、飼い主を見ていないと違う方向に引かれることがわかりますので、自然とアイコンタクトがとれるようになり、いっしょに歩くようになります。子犬に感じてもらう、考えてもらうようにするのがコツです。

グルーミングは、1歳未満から積極的にこなすようにしましょう。最初からいろいろなやろうとすると驚いて嫌がるので、まずは子犬の頃か



らスキンシップをたくさんとつておくことが大切です。日頃から子犬に触ってあげることで、子犬は人への安心感や信頼感を覚えます。スキンシップで子犬の体のどの部分を触っても嫌がらないようにしておくと、グルーミングがとても効率良くなります。犬は耳や口、お尻や足先などの敏感な部分はあまり触られたくない部分ですが、普段からマッサージをしたり、おやつを使ったりと、徐々に触ることに慣れさせていくようにしましょう。**スキンシップは子犬が遊び終わって落ち着いたときや、ごはんを食べたあと、のんびりしているときがいいと思います。**嫌がることをしつこくすると、逆効果になるので気をつけてください。子犬にはグルーミングを楽しくして心地よいものだと思わせたいので、飼い主のほうも緊張せずにリラックスしてやりましょう。爪切りや耳掃除もそうですが、基本的にトリミング台を使つたほうがスムーズです。

爪切りを初めてやるときは、緊張するかもしれませんが、2人がかりでおこなうとよいと思います。1人はオヤツを口の近くにもつていき、舐めさせたりして、子犬が集中している間にもう1人が爪を切るといった感じですよ。爪切りをすると、爪の血管を切ってしまう血が出ることもありますが、前もって止血剤を用意しておいてください。血が出るのを恐がって爪を伸ばし過ぎてし